

「レジデンシャル上板橋パークゲート」が 第3回「板橋区景観賞」を受賞

当社の連結子会社である株式会社ワールドレジデンシャル(本社:東京都港区、代表取締役社長:桑原伸一郎)が、分譲住宅事業「レジデンシャル上板橋パークゲート」において、「景観資源の要素を計画に取り入れた事例」として、第3回板橋区景観賞を受賞しましたので、お知らせいたします。

本物件は、地域の資産を継承し、次代を物語る地域の豊かなランドマークを目指して2020年に完成した分譲マンションです。
本物件の手前に佇む「五本ケヤキ」は、昭和初期の川越街道整備にあたり伐採されずに大切に保存された、元上板橋村村長宅の屋敷林に由来する地域資産です。

本物件の建築デザインには「五本ケヤキ」をモチーフとした意匠とし、シンボルツリーには櫟を採用。地域のランドマークとして、次代へ語り継がれる街並みの形成を目指しました。
外観デザインは、「五本ケヤキ」をモチーフとしたマリオンや繊細な凹凸で、立体的な表情の豊かさを追求。エントランスホール正面には「五本ケヤキ」をモチーフに、繊細な左官仕上げで設え背面のライティングで浮かび上がるデザインウォールを採用しました。

また、敷地の東面・西面ともに公道沿いに「歩道状空地」を配し、遊び心を持たせながら「小道」として演出。北側のバス停には、高齢者がバス待ちの時に座れるデザインベンチを設置し、歩行者空間確保ともに景観向上にも配慮しました。

ワールドレジデンシャルは、2010年の設立以来「人と文化が集うまちづくりによって地域に貢献する。」を理念に掲げ、それぞれの街が持つ固有の歴史と文化を尊重したまちづくりを続けています。今後も、人と文化のつながりを踏まえた上で、環境に着目した社会にも貢献できるまちづくりを目指していきます。



▲3月27日 板橋区景観賞表彰式の様子

板橋区景観賞受賞の評価コメント

「景観資源の要素を計画に取り入れた事例」

複数の店舗・住宅等を集約し計画された、12階建て、57戸の共同住宅である。主要幹線道路である川越街道の沿道に位置し、敷地近くには、区の景観重要樹木であり、板橋十景にも指定されている「五本ケヤキ」がある。この景観資源を活かし、尊重するように、敷地の外周部には豊かな植栽が施され、シンボルツリーとしてケヤキを配することで、魅力的な沿道空間を創出している。建物の外壁はやや暗めの暖色系の色彩を基調とし、左官風の仕上げ材を用いている。また、外構の塀や柵、ポール類の色彩にも統一感を持たせることで、落ち着きと重厚感も演出している。



▲建物外観



▲エントランスホール

物件概要	
物件名	レジデンシャル上板橋パークゲート
所在地	東京都板橋区桜川3丁目120番1(地番)
交通	東武東上線「上板橋」駅徒歩4分
総戸数	57戸(他、管理事務室1戸)
構造規模	鉄筋コンクリート造・地上12階建て
敷地面積	1,298.97㎡
建築面積	477.89㎡
専有面積	56.24㎡～68.48㎡
売主	株式会社ワールドレジデンシャル
設計・監理	株式会社三輪設計 東京本社
施工会社	株式会社川村工営

問合せ先:(株)ワールドレジデンシャル 経営企画本部 経営企画部 (電話: 03-3433-5160)